



チェコ共和国 Czech Republic



たばこ産業の特徴

- シガレットの市場規模は210億本。
- 製造数量は313億本（1998～2002年平均）。
- シガレット価格が高いために、チェコ独特の“RYO”が急速に伸びている。
- スロバキヤと関税同盟を結び製品を輸入している。
- 喫煙者に対する態度は寛容であるが、全面的広告禁止が実施される見込み。
- EU加盟による税制統一による製品価格上昇が懸念されている。
- トップ企業はPhilip Morris Czechで、シェアは80%。
- 国産ブランドはPetra(シェア27.4%)がトップ、Marlboroのシェアは14.2%。

[1] 法規制等

・健康注意表示：

健康注意表示は2種類あり一つは永久のもので「喫煙は健康に重大なダメージを与える」、もう一つはローテーションで載せる。

包かにはタールとニコチン量を記載しなければならない。

・喫煙規制：

主要路線の喫煙車両以外は公共輸送機関は禁煙。学校、病院は禁煙。映画館と劇場は喫煙場所を設ければ可。政府機関・職場は喫煙禁止、喫煙場所では可。航空機内は自主禁煙。

・広告規制：

チェコ共和国で活動しているたばこ企業はある程度の制約はあるが、広告が許されている。たばこ広告は若者向けを除く出版で認められており、ラジオは午前6時～午後10時の時間帯を除き認められている。

テレビの広告は禁止されている。

屋外広告は認められているが、学校などから200m以内は禁止。

映画館が午後9時までは認められていない。

18歳未満をターゲットにする広告は認められていない。

たばこ広告には健康注意表示を載せなければならない。

・販売規制：

16歳未満の者のたばこ製品購入は禁止。

・喫煙規制の動向

チェコは非喫煙者の喫煙者に対する態度は寛容。

反喫煙キャンペーンも低調であるが、いつ動き出すか分からないと業界は心配している。

チェコ内閣は2002年8月にたばこ製品のあらゆる形での広告を禁止する新しい法案を承認した。

この禁止にはスポンサーシップも含まれているが、現在の契約終了までの数年間は認められる。

上下院を通過し、大統領の署名があれば発効する。

これまでは広告グループの激しい反対があり議会は通過しなかった。

[2] 税制

政府は2001年7月1日から、シガレット1000本当たりCK360の固定税率と22%の従価税の二重構造のシガレット税制を導入した。

シガレットの付加価値税は22%。

関税は56.7%。

チェコのEU加盟により物品税が最低税率で57%に上がるために、シガレット価格も大幅に上がる。

購買力の低いチェコには大きな打撃になる。政府はEUに対して5年間の移行期間を要求している。

業界筋は急激な税制ハーモニゼーションにより、喫煙者は安価な密輸製品に流れると警告している。

[3] 喫煙者プロフィール

- 成人人口の30%が喫煙者。
- 15歳以上の人口一人当たり年間喫煙本数は1,476本（1992～2000年の平均）。
- 210億本市場の喫煙者の60%は男性、女性は40%。
- 平均喫煙本数は1日当たり18本。

成人の喫煙率（2000年） （15～64歳）		若者の喫煙率（1999年） （15～64歳）	
男性	36.2%	男性	39%
女性	22.0%	女性	34%
計	29.1%	計	36%

[4] 市場概況

- 国内の販売量は近年頭打ちで約210億本。シガレット販売本数は2001年が210億本、2002年は191億本。Philip Morris製品が市場の4/5を占めている。
- Petra、Marlboro、L&Mが主要ブランドである。
- ブラハの近くにあるPhilip Morris工場での製造開始により1990年代末に蔵す量製造数量が急増した。
- チェコのシガレット輸出本数は165億本(1998～2001年平均)。
- 1993年のチェコとスロバキアの分離以降、両国間には無関税協定により貿易が行われている。スロバキアへ輸入される年間約50億本の大部分がチェコから来ており、スロバキアで販売される約55%がPhilip Morrisブランドである。
- ライト製品への移行はあるが、フルフレーバー製品のシェアは依然として50%以上ある。
- チェコ市場は喫煙者が「パイプたばこ」を使ってシガレットを作るという傾向が高まっている。これはRYOのようなものではなくて、ベトナムから不法に輸入に輸入された非常に安価な「たばこ」を使い「シガレット・チューブ」も「たばこ」もたばこ店で購入できる。

この「たばこ」はパイプたばこに分類されており、税率がシガレットより安い。この「RYO」セグメントは過去2年間急速に伸びており、10～15%のシェアになっている。平均所得に比べてシガレットの価格が高いためである。

- RYOへの傾向にもかかわらず、チェコの年間消費数量は210億本近い。この数量は合法的チャンネルのみならず違法購入分も含んでいるが、違法販売は現在のところ大きな問題にはなっていない。
- RYOへの傾向にもかかわらず、高級品に対する需要があることに注目すべきである。
- 2001年の企業別製品シェア：

PM Czech Republic	80.80%	SIT/Reemtsma International
Praha	9.30%	
BAT Czech Republic	6.90%	
JTI Republic	3.00%	

シガレット製造・輸出入データ (単位 億本)

	1998年	1999年	2000年	2001年
製造数量	302	325	315	313
輸入数量	45	50	40	55
輸出数量	147	185	165	164

2001～2002年データ

	2002年	2001年
消費本数(単位億本)	191	210
フィルタ付き(%)	98	96.6
Philip Morris(%)	81.1	80.5
Reemtsma(Imperial)%	6	9.3
Altadis%	0.1	n/a
主なブランドのシェア%		
Petra	27.2	27.4
Start	27.7	24.3
Marlboro	10.7	14.2

(出典 Maxwell Report)

2000～2001年データ

	2000年	2001年
Philip Morris	79.2	80.8
Petra	27.8	27.4
Start	23.5	24.3
Marlboro	10.5	14.2
Reemtsma	9.8	9.3
Mars	4.2	2.9
West	2.2	3.2
Delta	1.2	2.1
Filter%	96.6	96.6
American%	68.9	NA
Virginia%	0.9	NA
消費本数(億本)	209	210

(出典 Maxwell Report)

[5] 製品概要

- 主な国産ブランドはStart、Perta、Sparta。
- 外国ブランドではMarlboro、Lucky Strikeに人気がある。
- プライム・ブランドはMarlboro(シェア14.2%)、Lucky Strike(シェア1.3%)、Pall Mall、Dunhillである。
- 元Rothmansの製品は高品質ではあるが高価であり、高所得者が購入している。
元Rothmansの製品はBATCRが輸入している。
- 2001年7月からシガレットの小売価格の固定制度導入を前にして、Reemtsma製品の希望小売価格は20本入り1包かがMars、Deltaのような国産の70mmバージョンでCK32(0.80USドル)。
DavidoffがCK52.5(1.30USドル)。MarsやDeltaのキングサイズは約CK37(US0.93)、Westのキングサイズと70mmバージョンはそれぞれCK39.5(US1.00)とCK34(US0.85)である。
- Dunhill InternationalやRothmans InternationalはCK57.50(US1.40-1.50)で売られている。

[6] 流通

卸売りを經由して小売り、スーパーマーケット、ガソリンスタンドで販売されている。
違法販売は大きな問題にはなっていない。

[7] 企業概要

Philip Morris Czech Republic:

1992年に元国営のTabak ASの株式の大部分をPhilip Morris Internationalが4.2億ドルで買収。
2000年に社名をPhilip Morris Czech Republicへ変更。本社はプラハ、工場はKutna、Hodonin、Straziceの3ヶ所にある。
流通拠点は国内に14ヶ所ある。
年間製造数量90億本以上。従業員は1,500名。

Reemtsma(Imperial) Czech Republic:

Philip Morrisに次いでチェコ第2位のRCR(Reemtsma Czech Republic)の製品は、同社のベスト・セラーMars、国際ブランドのWest、Davidoff、R1、Astor、Deltaである。
Mars、Delta、Davidoffはフルフレーバーとライト・バージョンがあり、Davidoffにはマイルド・バージョンもある。

Astorにはフルフレーバー、ライト、ウルトラライトがある。Westはフルフレーバー、ライト、スーパーライトがある。

Mars、Delta、Westのフルフレーバーとライトには70mmバージョンがある。
RCRはスロバキアに複数の工場を持ち、両国間の関税同盟により、製品をチェコへ輸入している。しかしDavidoffのようないくつかのブランドはドイツから輸入している。

BAT Czech Republic(BATCR):

BATドイツの子会社として1994年に設立されたBAT Czech Republic(BATCR)は、1996年にドイツ・バイロトに近いMirianske Lazneにある家具工場を買収して、シガレット工場に転換した。BATCRのシェアは2001年で5.5%。

MolinsとHauniの巻上機があり、55名の従業員が3シフトで操業。

年間製造能力は10億本。

長さ、ベンチレーションなどシガレットの重要特性は30分ごとに測定、製品サンプルはバイロトのBAT試験室へ送りチェックしている。

主要製品はHB、国産ブランドのTrumf、Lucky Strike、Pall Mall、Dunhill、Rothmans、Vogue、Cartier、Lord、Kim、Peter Stuyvesant、Golden Americanなども製造。

AltadisのGauloises Blondes製品、House of PrinceのPrince、Austria TabakのRonsonとMenphisを契約製造している。

JT International Czech Republic:

本社はプラハ、Mydlarkaに工場がある。